

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	萩市			代表者名	市長 田中 文夫
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	総合政策部DX推進室	連絡先電話番号	0838-21-5477
担当者役職	室長補佐	担当者氏名	山本 剛	連絡先E-mail	
住所	758-8555 山口県萩市大字江向510番地				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	連絡先E-mail

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名	DX推進員研修・課長級職員向け研修
概要	「DX推進員」に対する「業務改善ワークショップ」の開催 「課長級職員」に対する「DXを成功させる組織作りについて」を学ぶ		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 計画策定支援 プロジェクトマネジメント支援		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和8年1月7日	支援・助言&講演(実地)	13時30分	15時30分	
				活動時間（分）	120
2-2. 派遣場所	会場名	萩・明倫学舎		最寄駅	萩・石見空港／新山口等
	所在地	山口県萩市大字江向602番地		最寄駅からの交通手段	<a href="https://www.city.hagi.lg.jp/site/meetingakusha/access.html">https://www.city.hagi.lg.jp/site/meetingakusha/access.html</a>

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	・現場の課題を「具体的な設計図」に落とし込んだ点 多くの職員が直面していた「課題は挙げられるが、具体的な解決策が描けない」という壁を乗り越えるための手法を学ぶことができました。 ・本市が保持しているデジタルツールを活用する点 新規システムの導入ではなく、萩市が既に保有しているツールを使いこなすことに重点を置いた点が実用的でした。
アドバイザーへの要望事項	本研修の成果物から課長級職員研修に繋がる研修資料を作成いただければと存じます。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	28人
	自治体職員	住民	企業・団体
人数	28		その他(学生など)

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	萩市では令和3年度7月にDX推進の専門部署を設置し、「DXによる幸せなまちづくり」を目指してDX推進に取り組んでいる。現時点では、DX推進室が中心となり、国策定の自治体DX推進計画に掲げられた内容を主に取り組んでいるところだが、各部署での自発的な取組は過去の本事業の取組により徐々に広がりを見せてはいるものの、まだまだ不足しており、職員のさらなる育成（DXマインド醸成・ITリテラシー向上）が課題となっている。なお、受講対象の「DX推進員」については、全庁的にDX推進を図ることを目的に、各部署からの推薦・立候補により毎年度配置をしており（任期1年）、DX推進に有益な情報の提供、デジタルツールの先行利用、DX関連研修の案内等を行っている。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	令和8年度末までに、デジタル技術の活用による「オンライン申請の推進」と「新たなワンストップ窓口の実現」を通じ、市民サービスの利便性を向上させる。 具体的には、オンライン申請可能な手続きの拡大、市民が時間や場所を選ばずに手続きを完結できる環境を拡充する。併せて、窓口業務の効率化と市民の負担軽減を図るため、市民一人当たりの平均待ち時間の短縮を図る。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	全5グループから提出された現場の課題を事前に分析いただき、「問合せ対応・ナレッジ共有」や「申請・受付業務のデジタル化」等、4つの「型(デザインパターン)」として抽出・整理いただきました。 また、萩市が既に保有しているKintoneやLoGoフォーム、WinActor、exaBaseといったツールと、目の前の業務課題を具体的にどう結びつけるかという「設計図(ソリューション・アーキテクチャ)」の描き方をご教示いただきました。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	4つの「型(デザインパターン)」を既存のデジタルツール(Kintone、LoGoフォーム等)に当てはめることで、具体的なTo-Beを導き出す手法を学ぶことが出来ました。また、研修後のアンケートでは「(完璧を目指さず)始めていいのだと思った」といった声もあり、DXを推進するにあたり自ら「次の一歩」を踏み出すマインドセットへと改善されました。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	各グループが提出した課題に対する改善提案計画案、アンケート	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	3回目の支援において、課長級職員向けDX研修を開催予定	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。  課題解決に向けた「設計図(解決策)」の描き方のイメージとしての5段階評価の平均で3.31点でした。多くの職員が「設計図(解決策)」の描き方やAI活用の有用性を理解し、DXに対する心理的ハードルが下がったことが伺えます。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
	まずは、アンケート結果を元に研修などを企画検討する。	
4-4. 事業の最終的な目指す姿	デジタル技術を活用してオンライン手続きの幅を広げ、「いつでも・どこでも」申請が完結できる環境を整えます。あわせて、窓口業務の効率化を進めることで、待ち時間を減らし、市民の皆様の利便性と負担軽減を追求します。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 ☐ 掲載可

<https://www.r-ist-advisor.jp/cases-case-good practices/past year all houkoku/>

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

## 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における**地域情報化アドバイザーの支援の様子**がわかる「写真(JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。

